

仙人通信 178 天狗山(1882m)

天狗山は信濃川上駅のある川上村役場の北側に聳える岩山で、信濃川上駅から男山・天狗山・御陵山と連なる稜線の最高峰(三等三角点)である。

冬季車両通行止となる川上村と南相木村を結ぶ川上佐久線の馬越峠(1610m)に車を置いて、270mの高低差をピストンする事にした。

切通の馬越峠には、赤いシモツケソウ・アザミ・ヤマナデシコやヒメフウロ・ノギク等に囲まれたお地蔵様が旅人の安全を祈るかのように二体安置されている。隣の5台程置ける駐車スペースに車を置いてのスタートだ。

稜線が切通で切れている為に、カラマツ林の中の急な登りを5分程詰め、更に白樺や水楡の林の尾根を10分程登ると、最初のピークだ。登山道の横にはシャクナゲ・ツガの木が、そして足元では、10cm程の茎に2cm程のピンクの花を付けたママコナだ。又この時期、赤い大きなタマゴタケやベニタケ等のキノコが枯葉を持ち上げて、沢山の種類が観察された。更に10分程で、川上村側が断崖絶壁となった岩尾根の上に立つ事ができた。目の先には、先程通って来た信州峠や横尾山・女山・高登谷山が、そして高原野菜の畑や千曲川を挟んで川上村の村落も望めた。

赤松やミツバツツジも加わったコースは10分足らずで鞍部である。ここから山頂までは、準備されたロープを頼りの岩登りである。この岩は、堆積岩のチャートである。

足元では、黄色いアキノキノリソウやイワインチン・ヤマハハコも加わりにぎやかだ。

ミツバツツジに加えヤマツツジやハコネコメツツジも加わり、開花時を想像しての登りである。25分程(スタートから1時間強)登ると小さな山頂である。

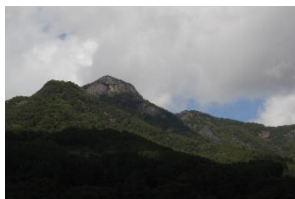
正面に男山が望めるも、八ヶ岳は雲の中で残念である。遠く僅かではあるが、雲間から浅間山が顔を出し、茂来山・御座山・南相木ダム・三国峠や小川山へと連なる山並みも望めた。

甲斐駒やアルプス方面は、木々で望めず残念！！！！

眼下では、小海や南相木村を中心に高原野菜の畑が見事に仕切られ安らぎをくれる。

赤トンボが乱舞する山頂で過去に登った周囲の山を見ながら30分程休憩して、登って来たコースを戻った2時間半(6500歩)の小さな山旅でした。(h30.9.18)

天狗山



山頂



岩尾根

